

原発がこわい女たちの会  
<http://blog.zaq.ne.jp/g-kowai-wakayama/>

《 2014年09月 | [トップ](#) | 2014年11月 》

[検索](#)

2014年10月27日(月)

 [検索](#)

女たちの会拡大世話人会を開きました

[アーカイブ](#)

お久しぶり！！でした。  
 まずは積もる話です。とくに、今は司法書士として活躍している山本さんから、最近のワーキングプアや、若い人たちの権利意識の低さ、貧富の格差拡大のなか生活保護受給の困難さなどのなまなましい実態を聞きました。そしてこれらが現在日本の政治の右傾化とリンクされていることの恐ろしさを語り合いました。



さて本題。  
 今回の世話人会でのテーマは、「今後の会の運営をめぐる」でした。結論からいうと、会は存続すべしということです。

1987年会の結成当時、世話人の大半は、ピチピチとはいきませんが30代から40ちょいという年回り。みなさん気力にあふれて元気に活動していましたね。あれから30年近く経ちました。  
 今は各人それぞれに、仕事があったり、介護や看護の必要な家族がいたり、自身の健康に不安を抱えていたり、なかなか顔をそろえるのも難しいことになりました。どうしても最近のパワーダウンは否めません。

「原発がこわい女たちの会」は和歌山の原発を止めたいと強く願う女たちが、チェルノブイリ原発事故を契機に結成したものです。しかし、2011年3月11日に起きた東京電力福島第一原発の事故は、チェルノブイリとは比較にならないほど衝撃的な出来事でした。

子どもたちの未来に大きな影響があるのは明らかです。3年半経った現在も原発の事故炉は収束からほど遠く海、大地、大気を汚し続けています。さらに県内外に避難したまま放置されている福島の人たちは、将来に向けて希望が持てず苦しんでいます。こんな状況の中、平気で、再稼働が強行されようとしています。アジアへの原発輸出が画策されています。課題は山積です。

たとえ少々くたびれたとしても、私たちは活動をやめるわけにはいかないということを確認しました。

近年、活動お休み気味の方の中には、同窓会ののりで出席した(したかった)人もあったと思います。同窓会もいいですね。今回参加できなかった方、この次はぜひお会いしましょう。

(sora)

2014-10-27 | [記事へ](#) | [コメント\(0\)](#) |

2014年10月15日(水)

原発がこわい女たちの会ニュース91号発行

- [2016年11月\(2\)](#)
- [2016年10月\(1\)](#)
- [2016年09月\(1\)](#)
- [2016年08月\(2\)](#)
- [2016年07月\(4\)](#)
- [2016年06月\(2\)](#)
- [2016年05月\(1\)](#)
- [2016年04月\(3\)](#)
- [2016年03月\(2\)](#)
- [2016年02月\(3\)](#)
- [2016年01月\(2\)](#)
- [2015年12月\(4\)](#)
- [2015年11月\(2\)](#)
- [2015年10月\(1\)](#)
- [2015年09月\(3\)](#)
- [2015年08月\(3\)](#)
- [2015年07月\(2\)](#)
- [2015年06月\(2\)](#)
- [2015年05月\(2\)](#)
- [2015年04月\(2\)](#)
- [2015年03月\(2\)](#)
- [2015年02月\(2\)](#)
- [2015年01月\(5\)](#)
- [2014年12月\(3\)](#)
- [2014年11月\(2\)](#)
- [2014年10月\(2\)](#)
- [2014年09月\(2\)](#)
- [2014年08月\(1\)](#)
- [2014年07月\(2\)](#)
- [2014年06月\(1\)](#)
- [2014年05月\(3\)](#)
- [2014年04月\(4\)](#)
- [2014年03月\(3\)](#)
- [2014年02月\(1\)](#)
- [2014年01月\(3\)](#)
- [2013年12月\(4\)](#)
- [2013年11月\(1\)](#)
- [2013年10月\(3\)](#)
- [2013年09月\(5\)](#)
- [2013年08月\(1\)](#)
- [2013年07月\(3\)](#)
- [2013年06月\(5\)](#)
- [2013年05月\(3\)](#)
- [2013年04月\(2\)](#)
- [2013年03月\(6\)](#)
- [2013年02月\(2\)](#)
- [2013年01月\(3\)](#)
- [2012年12月\(2\)](#)
- [2012年11月\(1\)](#)
- [2012年10月\(2\)](#)

本日・10月15日、ニュース91号を発行しました。  
内容は以下の通りです。「伝える・伝わる」については、本ブログ(9月16日)に  
掲載済みなので省略します。

【 CONTENTS 】

- ・川内原発再稼働は止めないといけない！
- ・女たちの会の拡大世話人会を開催します
- ・福島原発事故の課題
- ・電力自由化⇒原発にあらたな支援策
- ・破たんしているのに「核燃料サイクル」政策推進
- ・伝える・伝わる
- ・日高町を訪れました
- ・本の紹介
- ・お知らせ・署名のお願いなど
- ・後記

9月27日に起きた御嶽山の噴火は50人以上の死者を出し、まだ行方不明者の捜査が続いています。戦後最大の火山災害になりました。

■川内原発再稼働は止めないといけない！

原発の審査では従来、火山対策は重視されて来ませんでした。新規基準では半径160キロ圏内の火山の考慮を新たに求めています。川内原発の周辺には50キロ先の桜島、約60キロ先の霧島山等活火山が多くあります。巨大なカルデラをつくり、付近まで火砕流が届くような巨大噴火も過去にはあったそうです(九電も認めている)。

原子力規制委員会は9月10日に、川内原発1・2号の審査書を決定、設置変更を許可した。規制委員会は多くの専門家が指摘した火山のリスクを無視してきました。

御嶽山の噴火後、御嶽山のような小さい噴火は予知しにくい、巨大噴火は予知できると規制委員会の田中委員長がテレビの取材で話していました。

火山予知連絡の会長は火山リスクが低く巨大噴火の予知は可能だとする規制委の判断を「科学的根拠に基づいていない」このままでは「また安全神話を作り出すことになる」ときびしく批判しています。

■女たちの会の拡大世話人会を開催します

10月25日(土)13:30~15:30まで  
○会場:フォルテ・ワジマ(旧丸正百貨店)6階ボランティア・サロン B会議室  
福島原発事故から3年半が過ぎました。例えば次に挙げているような沢山の課題が残されています。そして私たちの会も来年結成28年を迎えます。



- 無料駐車場は市役所の駐車場を御利用下さい。(歩いて下さい)
- 有料の駐車場は近くにありません。

■福島原発事故の課題

子どもの甲状腺がん

8月24日福島県「県民健康調査検討委員会」で報告。  
57人が手術を、46人が疑い。  
座長は原発事故との因果関係は考えにくいと従来通りの見解。  
何故と思ってしまうのは私だけではないと思います。が  
チェルノブイリの4000人の甲状腺がんもなかなか認めようとしなかった。

汚染水の対策として凍土方式の遮水壁建設に320億円の国費投入を決めました。トレンチ「氷の壁」頓挫。福島第一2号のタービン建屋と海側のトレンチの接合部を凍らせて流れを止め、トレンチ内の汚染水を抜く計画は3カ月以上経っても凍らず、7月からの氷やドライアイス投入も効果なし。

汚染水問題泥沼化の根源は、2011年6月の時点で遮水壁を構築しなかったこと。  
東京電力は対策を具体的に講じた書面を作成していたにもかかわらず、債務超過をおそれこの書面を公表せず、対策を先送りしました。

この時点で東京電力と国が海の汚染防止の抜本的な措置を講じなかったことは世界的な犯罪ですね。  
薄めて海に流すしか手がないのでしょうか。

- 2012年09月(2)
- 2012年08月(2)
- 2012年07月(4)
- 2012年06月(4)
- 2012年05月(3)
- 2012年04月(1)
- 2012年03月(1)

最新コメント

- [日韓の原発事情、国 by 民守 正義(08/21)  
そもそも、我が和歌 by 清水俊幸(07/25)
- コメントありがとう by sora(12/05)
- 突然すみません。東京 by 里美(11/22)
- 10/26と11/29のチケット by 角谷(10/23)
- starさんコメントあり by sora(09/14)
- このブログを読むまで by star(09/13)
- こんにちは。メッセ by わんこ(04/15)
- 現在稼働している大飯 by star(04/09)
- 廃炉産業を起こしてほ by kaziharayosiyuki(03/14)

カレンダー

<		2014年10月							>	
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
			1	2	3	4				
5	6	7	8	9	10	11				
12	13	14	15	16	17	18				
19	20	21	22	23	24	25				
26	27	28	29	30	31					

最新記事

- 琵琶湖が危ない 老朽原発美浜3号も廃炉に！ 11・13 琵琶湖集会(11/15)
- 汐見文隆先生、ありがとうございました(11/08)
- 原発がこわい女たちの会 ニュース99号発行(10/12)
- 高速増殖炉もんじゅ廃炉へ(09/27)
- 老朽原発・美浜3号機は廃炉に！ パブコメを出そう(08/28)
- ピースボートで韓国古里(コリ)原発を見学してきました(08/21)
- 熊本地震の経験から原発の耐震性見直しを要求し、25団体で共同声明を出しました(07/22)
- 老朽原発・関西広域連合へ要望書と和歌山県との話し合い(07/17)
- 原発のない社会を投票で示そう！(07/05)

被曝労働、きびしい作業環境の中で高い被ばく状況は続いています。事故収束作業に従事する労働者は1日3000人とされてきたそうですが、5月23日東京電力の定例記者会見では、警報機付きポケット線量計APDの貸出し数でのカウントでは5000人～6000人が作業しているという。(下・孫・ひ孫請け社会です)

6月4日に厚生省は、原発事故から2011年12月16日(収束宣言日)までの作業者は原子炉が安定せず極度の緊張を強いられ、一時的に線量限度を250ミリシーベルトに上げざるを得なかった状態で作業に従事したため「長期的健康管理」の対象とした。約2万人の健康状況を、死亡時まで追跡調査すると公表。これに対し、2011年12月「収束宣言」後の作業者は、他の原発労働者と同様に法令に基づき事業者が実施する年2回の特殊健康診断と一般健康診断で健康管理を図るとのこと。

「収束宣言」後もきびしい作業者の被曝が続いています。月ごとの集団線量では「収束宣言」後も被曝量は減ってはいない。汚染水処理作業に追われるようになった2013年8月から増加傾向が著しい。すべての収束作業者を疫学調査の対象にして、健康管理の徹底をするべきだ。

## ■ 電力自由化⇒原発にあらたな支援策

東京電力の原発事故で安全神話が崩れ、事故の収束も進まない状況下で、安倍政権が2014年4月に閣議決定したエネルギー基本計画。原発について「可能な限り依存度を低減させる」のを前提としながら「運転コストが低廉で変動も少なく、運転時には温室効果ガスの排出もない」と原発を重要なベースロード電源と位置づけています。

その安倍政権は電力システムの改革の断行をも公約にしている、2016年から実施されます(法律が国会を通過している)。電力の小売り全面自由化後は一般消費者である私たちがどこの電力会社とも契約できることとなります。価格競争が起きて電気代が安くなるのかどうか？ 原発をどうするのか警戒をしていました。

政府は電力自由化のもとでは生き残れない原発に新たな支援制度を検討しています。全面自由化ではなく既存の電力会社を競争から外し、原発の価格保証によって損失が出ないようにする。

何のための自由化なのでしょう。経産省は「自由化に伴う激変緩和策」と説明していますが。原発は安いと言ってきた皆さんが、原発産業を守るために出してきた怖い話です。  
○電力会社が事業に必要なコストを料金に転換できる「総括原価方式」も18年～20年までに廃止。  
○電力各社の発電部門と送電部門を分離するための法案が来年度の通常国会で提出されることになっていて、実施は2020年からの予定。

## ■ 破たんしているのに「核燃料サイクル」政策推進

六ヶ所再処理工場は1993年から着工していますが、トラブル続きでいまだ本格稼働はしていません。完工時期を21回目の延期、16年の春ごろに。

再処理工場は原発を持つ電力9社などが出資する日本原燃を中心に運営している。再処理費用は2004年から私たちの電気料金に含まれています。なんと再処理は国策として必要だという意見が「原子力小委員会」では支配的らしい。電力にとっては電力自由化に便乗して、お荷物の再処理工場の破たんリスクを回避できる形となる。と原子力小委員会奮闘記(2)に原子力資料情報室共同代表の伴英幸氏が書いています。

現在、使用済み燃料は各原子力発電所のプールに保管されています。原発の再稼働が進めば一番早いところでは、3年で容量限界に達するそうです。(経産省試算)

## ■ 日高町を訪れました

10月4日(土)日高町に鈴木静枝さんのところへ「再稼働反対」の意見広告の載った朝日新聞を持ってお礼に行きました。

原発がこわい女たちの会  
ニュース98号発行(07/04)

SCHEDULER

ナビゲーション

トップ

RSS

ID:

PASS:

サイト管理者 ▼

ログイン

SSLモードでログイン





少し前にちょっと気になる手紙を頂いたのですが、とても元気でした。安心しました。96歳になられたそうです。  
私は産湯の駐車場でクエフェアにも参加して、クエも食べ餅拾いもして来ました。  
濱さんはクエの解体をしていました。クエの重さ当てクイズがあり、当たれば賞品が貰えます。そのあとはご当地キャラの登場でした。老若男女カメラを持って盛り上がっていました。最後は餅まき、地元のおばさんが陣取っていました。

□「再稼働反対」の意見広告にご協力 ありがとうございます。

8月23日(土)の朝日新聞に全面広告で掲載させる事が出来ました。  
「ストップ・ザ・もんじゅ」で見れます。  
[www.page.sannet.ne.jp/stopthemonju/](http://www.page.sannet.ne.jp/stopthemonju/)

■本の紹介

☆ 集団的自衛権と安全保障(岩波新書820円)

豊下 櫛彦・古関 彰一 著 (2014年7月18日発行)

集団的自衛権の言葉だけで難しそうと思ってしまうがちですが、そんなこと言ってる場合ではなくなっています。私も読み進めるうちに初めの方を忘れますが、又読み直すことをしています。日本が大きく憲法改悪に舵を切りつつあるのです  
安倍首相の支離滅裂な議論の裏で何をやろうとしているかが見えてきます。まず本当の事を知る為にこの本をお勧めします。

~~~~~  
問題は、過去半世紀以上にわたり歴代自民党政権によっても憲法違反とされてきた集団的自衛権の行使を、解釈変更によって可能であると国民に広く訴える歴史的な記者会見において、安倍首相が全くの“架空のシナリオ”を持ち出し、しかも……  
“情感”に訴える手法をとった事である。これは「国民に分かりやすく」するためのレトリックどころか、人を欺くトリックそのものであり、これに政界、メディア、世論が翻弄されているならば、安倍首相の罪は限りなく重い。(本書より)

☆ 忘却のしかた、記憶のしかた(岩波書店3000円)

ジョン・W・ダワー 著 (外岡秀俊訳) (2013年8月2日発行)

ピューリッツァー賞受賞の『敗北を抱きしめて』で有名なジョン・ダワー氏の本です。  
「歴史」が「記憶」としてどのように操作され、社会にひろまるのかという問題であり、さらには、過去から何かを選びとって記憶することが、他のことを忘れてたり、わざと無視したりすること、いかにわかちがたいのか、というテーマである。  
(本書 日本の読者へより)  
この本の第8章に「二つのシステムにおける平和と民主主義 対外政策と国内対立」の論文があり、サンフランシスコ体制、55年体制など「日本近代史・日米関係史」の専門家としての分析に私の中に残っている記憶をつなぎ合わせながら読みました。操作される中で生きて来たと言うより、そこまで考えずに生活していた。気が付かないのは操作されている証拠でもあるのでは。この延長線上に今があるのですね。

( 松浦雅代 )

■お知らせ

□ドキュメンタリー映画「A2-B-C」上映会(製作2013年・71分)

10月26日(日) あいあいセンター6階(センターみらい)

★一回目上映は10時30分～ ★2回目上映は14時00分～

福島の子どもたちに何が起きているか、2011年より取材。

監督は:イアン・トーマス・アッシュ氏(監督とのディスカッションの時間があります)

チケット500円

○主催:「A2-B-C」上映和歌山実行委員会

**□ドキュメンタリー映画「シロウオー原発立地を断念させた町」上映会**

(製作2013年・110分)

11月29日(土)あいあいセンター6階(センターみらい)

★昼の部 午後2時～3時50分 ★夜の部 午後6時～7時50分

監督:かさこ 製作・脚本:矢間秀次郎

参加協力券大人1000円 学生500円 中学生以下無料

○主催:「シロウオ」和歌山市上映会

和歌山の日高原発と徳島の蒲生田原発。紀伊水道を挟んで人々が呼応し、何故原発を作らせなかったのかを福島原発事故後取材。日高町の濱一己さん一家や鈴木静枝さん原発反対で戦った元志賀政憲町長さんが登場します。

和歌山県は日高原発だけではありませんが、日高町は1967年の阿尾原発1975年の小浦原発と2か所の候補地がありました。1990年の原発反対町長志賀政憲候補の当選まで20年以上と云う長い間、厳しい闘いがありました。2期目まで対立候補が立候補しました。

**どちらのチケットも女の会で取り扱っています。**

**□今年も昆布を販売します。**(注文は松浦までお願いします)

下北昆布(大間の昆布)一袋1000円

とろろ昆布 一袋 400円

乾燥ホタテ貝柱 一袋1700円

(消費税増加分3%は量を少なくしてもらいました)

**□署名のお願いです。**

西川一誠福井県知事宛の(来春4月の知事選に向けて)

原発の再稼働を認めないでくださいの署名が始まっています。

「もう動かすな原発! 福井県民署名」実行委員会

ネット署名もできます⇒ <http://fukuijpn.org/>

署名用紙を同封しています。御近所の人に書いて貰って下さい。

**<記>**「集団的自衛権行使を容認する閣議決定の撤回を求める」国民安保法制懇の問題点のまとめを同封します。日米防衛指針は米軍支援を世界規模で行うことを明記する方針を固めたと報道されました。

私の頭の回転は鈍いが、安倍首相たちの動きは早い。安倍なんかに負けたらアカン。私たちも政治に早急に強くなろう。

(松浦雅代)

---

2014-10-15 | [記事へ](#) | [コメント\(1\)](#)

RSS 2.0